

5 重点的に取り組む施策（戦略プロジェクト）

盛岡市総合計画では、より効果的に計画を推進するために、盛岡市として施策を横断して戦略的に取り組むべき事柄について「戦略プロジェクト」としてまとめ、概ね3年を目途に、優先的に事業に取り組むこととしています。

予算編成においても、総合計画の目指す将来像である「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」の実現に向け、総合計画の推進と歩調を合わせ、限られた財源を最大限有効に活用する必要があることから、令和3年度当初予算編成においては、継続して取り組むとされた「未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト」「みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト」「2020あつまる・つながるまちプロジェクト」の3つのプロジェクトに対して、重点的な予算の配分に努めました。

(1) 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

274,614千円

ものづくり人材や意欲ある農林業の担い手の育成、支援など、若者を中心とした盛岡で働く人を育て、戦略的な企業誘致や新産業等用地の整備、地元企業への支援などを通じて、盛岡の働く場を創出するとともに、AI、IoT等の新技術の活用による生産性及び付加価値の向上など、地元企業や農林業などの効率性や生産性を高め、地場産業の基盤の安定化と魅力向上により、地域経済の活性化と人口流出の抑制を図り、持続可能な活力あふれるまちづくりを推進するための戦略プロジェクトです。

このプロジェクトには、合計で29事業、2億7,461万4千円の予算を計上しています。

具体的な事業名及び事業費

□ 工業振興事業（盛岡AI・IoTプラットフォーム事業）【新規】

7,000千円
(ものづくり推進課)

盛岡広域に集積するIT関連企業などが持つAI・IoT等の先端技術に関する知見を共有し、製造業を含む地域企業間や研究機関等との連携を促進するため、「(仮称)盛岡AI・IoTプラットフォーム」を設置するとともに、盛岡発で新たな価値を創出する未来技術に関する実証実験への支援などを行います。

□ 若者の就業支援事業（ふるさとワーキングホリデー）【新規】

6,592千円
(経済企画課)

市内企業の認知度向上及び人材確保に向け、主に県外の大学生等を対象に、一定期間、市内企業での賃金を伴う就労体験を行いながら、合わせて市内での生活を体験してもらう事業を行います。

- 農業生産対策事業（スマート農業導入促進事業）【拡充】（農政課） 5,550千円

農作業の効率化と生産性の向上や新たな担い手の確保とともに、生産条件が不利な中山間地域で、圃場分散型農業の対応策として、農業用ドローンの活用を促進するため、農業用ドローン本体とオペレーター認定を取得する経費の一部を助成します。

- 農業改良普及事業（輸出支援事業）【拡充】（農政課） 1,000千円

市内農畜産物の輸出促進に向け、生産者の意欲喚起や輸出に向けた機運醸成を図るため、関係団体と連携し、輸出支援に関するセミナーを開催します。

- 盛岡りんご担い手バックアップ事業
（りんご剪定作業担い手育成補助事業）【拡充】（農政課） 800千円

生産者の高齢化に伴い、盛岡りんごの担い手が減少し供給力の低下が懸念されるとともに、農家経営の安定化のため、剪定作業の担い手の確保や生産技術の継承のため、新規作業従事者の作業労賃に対し補助を行います。

- 盛岡の食材プロモーション事業【拡充】（食と農の連携推進室） 3,351千円

盛岡産農畜産物の利用拡大及び認知度向上を図るため、盛岡特産の農畜産物を使ったオリジナルメニュー等を提供する飲食店等の「盛岡の美味いもんアンバサダー」でのスタンプラリー企画などを行います。また、ホストタウン事業に関連して、来盛した外国チームの食事メニューにおいて、盛岡産食材を提供するおもてなしを行います。

- 雇用対策推進事業（新卒・若者就業支援事業）（経済企画課） 1,382千円

「もりおか就職ガイダンス」の開催や「盛岡企業ガイドブック」の発行により、就職を希望する若者に対して盛岡市域の企業情報を発信し、地元就職の支援を行うとともに、企業の人材確保を図ります。

- 雇用対策推進事業（U・Iターン、移住支援事業）（経済企画課） 6,528千円

ふるさといわて定住財団が開催する「岩手県U・Iターンフェア」に出展し、U・Iターンを希望する方に対する情報提供等を行うとともに、移住促進のため岩手県と共同で、東京圏からの移住者に対して移住支援金を支給する移住支援事業を行います。

- 雇用対策推進事業（魅力ある職場づくり推進事業）（経済企画課） 1,096千円

市内企業が、ワーク・ライフ・バランスに取り組み、働く人にとって魅力的な職場になり、合わせて人材の定着を図るため、ICT技術の活用も含めた働き方改革に資する研修会を開催するほか、他の事業所の模範となる取り組みを行う事業所を表彰します。

- 若者の就業支援事業（高校生インターンシップ・スキルアップ／
高校生地元就職フォローアップ事業）（経済企画課） 2,319千円

若者の現実的な職業観の形成や、地元定着を図るため、高校生に対して、地元企業の魅力に触れてもらう機会となるインターンシップや研修会を開催するほか、地元企業で働く若手社員の日常を紹介するなどした「モリオカシゴトカメラ」を配布します。

- 若者の就業支援事業（ジョブカフェいわて運営事業）（経済企画課） 5,004千円

若者に対し、きめ細かな就職相談や職業意識の啓発を行うとともに、就職に関する情報提供を行うため、岩手県が設置する「ジョブカフェいわて」にカウンセラー1名を配置し、就職等に関するカウンセリング等を行います。

- 若者の就業支援事業（新社会人就職定着支援事業）（経済企画課） 1,975千円

就職後3年目までの若手社員を中心に、コミュニケーションスキル向上研修、キャリア開発研修等を行うことにより、職場への定着を支援します。

- 商業振興事業（中小企業人材育成支援事業）（経済企画課） 200千円

地域イノベーションの創出を促し、事業者の経営力を強化するため、東北大学大学院地域イノベーションプロデューサー塾等において開催する研修に盛岡市内の中小企業の役員・社員が受講する場合の受講料の一部を補助します。

- 工場新設拡充等事業（ものづくり推進課） 53,018千円

各種助成などにより、市の区域内における工場・事務所等の新設・拡充を奨励し、産業の振興と雇用の促進を図るとともに企業の誘致を推進します。

- 工業振興事業（製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金）
（ものづくり推進課） 550千円

中小企業が市場開拓や販路拡大を目的として、国内外の展示会や見本市へ自社製品やサービスを出展する際に必要となる経費に対する補助制度を実施し、地元企業の競争力の強化を推進します。

- 工業振興事業（企業サポート専門員）（ものづくり推進課） 2,892千円

工業振興ビジョンを推進するため、市内企業を訪問し、それぞれの企業が持つ課題の解決を支援するとともに、事業承継の促進を図り工業の振興に取り組みます。

- 産業支援事業（ものづくり推進課） 1,218千円

大学等との産学共同研究により新たな価値の創造やニーズの発掘につながる、新規性・独創性のある取り組みに対し、経費の一部を助成します。

□ 成長分野拠点形成支援事業（ものづくり推進課） 31,930千円

成長分野と位置付けている医療福祉機器製造業等の研究開発型企業の集積を図るため、海外展開を目指す新事業に対しての助成、ヘルスケア産業協議会の活動のほか、企業集積の誘引力となるクラスター形成への支援として、インターンシップ事業と受託者の自主事業等により、高度人材の地元定着に取り組みます。

□ ものづくり産業魅力向上事業（ものづくり推進課） 1,265千円

盛岡地域で生まれた優れた工芸品の普及、商品力の向上を図るため、首都圏等の展示施設において、実演販売等による出展を行うとともに、盛岡手づくり村に情報を集約し、ものづくりの面白さや魅力発信の強化を図ります。

□ ものづくり人材育成事業（ものづくり推進課） 137千円

ものづくりを担う人材を育成し、地元への定着を促進するため、地元企業の情報発信力を高める取組として、盛岡広域の特性を活かしたものづくりをテーマとしてセミナーや工場見学等を実施します。

□ 盛岡テクノミュージアム設置事業（ものづくり推進課） 250千円

学生等の地元企業への理解を深め、企業の雇用の確保、若者の地元定着を図るため、市内の工場等が盛岡テクノミュージアムとして登録し、工場見学を受け入れる際に必要となる、受入体制整備や企業紹介スペースの設置に係る費用の一部を助成します。

□ 産業支援センター管理運営事業（ものづくり推進課） 16,573千円

貸ブースとインキュベーションマネージャーのハンズオン支援により、起業を目指す方や起業間もない方等を支援します。

□ 産学官連携研究センター管理運営事業（ものづくり推進課） 18,433千円

岩手大学構内に設置した貸オフィス等により、大学の研究成果を活用した新技術・新製品の開発や実用化に取り組む企業を支援します。

□ 新事業創出支援センター管理運営事業（ものづくり推進課） 7,893千円

開発拠点としての貸工場により、独創的な新技術や新製品を開発し、事業化を目指す企業を支援します。

□ 起業家支援事業（ものづくり推進課） 100千円

盛岡市、滝沢市、紫波町、矢巾町の共同による起業家塾及びビジネスプランコンテストを開催し、新規創業の促進を図ります。

□ 新産業等用地整備事業（新産業拠点形成推進事務局） 48,772千円

道明地区に産業等用地の整備を進め、先端技術を有する企業の集積や産学官連携による新技術・新商品開発を図り、企業の高付加価値化の実現を目指します。令和3年度は、第二事業区の整備に向け、詳細設計及び開発協議を行います。

□ 新規就農支援事業（農政課・産業振興課） 23,235千円

新規就農者への支援の充実や、担い手の育成と新規就農者の確保のため、農業を始めようとする人を対象に就農相談を行うとともに、国の農業次世代人材投資資金や盛岡市単独の親元就農給付金制度を継続して行います。

□ 食と農のバリューアップ推進事業（食と農の連携推進室） 25,057千円

生産者、事業者、消費者が一体となった「美食王国もりおか」の確立に向け、引き続き、本市の食や農に対する関心・愛着の醸成、6次産業化等を通じた特色ある商品等の開発支援などに取り組むほか、「withコロナ」時代に合わせた盛岡産農畜産物の魅力発信を行い、生産者の所得向上と食関連産業の活性化を図ります。

□ 林業労働対策事業（林政課） 494千円

高校生を対象に、仕事としての林業の魅力を発信し、担い手確保につなげるために林業・木材産業の関連事業所の見学会（森のしごと見学会）を広域連携により実施します。

コロナ禍にあっても、若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、親と子が地域や学校の中で孤立しないための取組や、困難を抱えた家庭への支援を行うとともに、子育ての相談や子どもの健全な成長を支援する体制を充実するなど、子育て環境の充実を図り、盛岡に住み続けたいと思える、安心して子育てのできるまちをつくるための戦略プロジェクトです。

このプロジェクトには、合計で21事業、4億3,661万2千円の予算を計上しています。

具体的な事業名及び事業費

□ 支援対象児童等見守り強化事業【新規】(子ども青少年課) 8,800千円

コロナ禍で不安やストレスを抱える子育て世帯が増加する中、子どもの見守り体制の強化として、地域のコミュニティである子ども食堂において、丁寧できめ細やかな見守りを行います。

□ 児童館整備事業((仮称)太田児童センター整備事業)【新規】
(子ども青少年課) 6,000千円

児童センター未設置地区である太田小学校区において、小学校の敷地内に児童センターを整備します。令和3年度は、基本設計及び地質調査を行います。

□ 私立児童福祉施設運営費助成事業(医療的ケア児保育支援事業)
【新規】(子育てあんしん課) 7,338千円

保育所等において医療的ケア児受入れのため、看護師の配置や保育士の喀痰吸引等の研修の受講に対する支援を行います。

□ 特別支援教育事業(医療的ケア学校看護師の配置)【新規】
(学校教育課) 4,460千円

医療的ケアが必要な児童生徒が、学校において教育を受ける機会を確保するため、当該児童生徒が在籍する盛岡市立の学校に、看護師を配置します。

□ 母子保健事業(産後ケア事業)【拡充】(母子健康課) 1,545千円

産後に家族等から十分な家事や育児の支援が受けられない母子等や、支援が必要と認められた産婦に対し、心身のケアや育児のサポートを行い、産後も安心して子育てができるよう支援を行います。令和3年度からは、現在実施しているアウトリーチ型に加えて、市内産科医療機関と連携してデイサービス型を実施します。

- 学習支援事業【拡充】（生活福祉第一課） 23,422千円

子どもの健全育成と貧困連鎖の防止を図るため、生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の中学生・高校生とその保護者に対して、高校進学や高校修学に関する相談や支援を行うほか、同世帯の中学生を対象に学習の場を提供します。令和3年度から、学習の場を1か所増やし、4か所とします。

- 地域児童クラブ等運営事業
（低所得世帯の利用料軽減、第2子以降の利用料助成） 13,985千円
（子ども青少年課）

放課後児童クラブの利用料について、年収550万円未満相当のきょうだい同時利用世帯及び低所得世帯の負担を軽減します。

- 児童館整備事業（（仮称）見前北児童センター整備事業） 189,678千円
（子ども青少年課）

児童センター未設置地区である見前小学校区において、小学校の敷地内に児童センターを整備します。令和3年度は、建設工事を行います。

- 児童館整備事業（（仮称）向中野児童センター整備事業） 15,534千円
（子ども青少年課）

児童センター未設置地区である向中野小学校区へ児童センターの整備を進めます。令和3年度は、実施設計を行います。

- 児童館管理運営事業（児童厚生員の適正配置）（子ども青少年課） 26,832千円

児童厚生員の適正配置の基準に基づき、利用児童数に応じた児童厚生員を配置し、利用児童の健全育成を図ります。

- ひとり親家庭等日常生活支援事業（子ども青少年課） 1,216千円

ひとり親家庭等の生活の安定を図るために、休業や仕事、疾病等で、一時的に生活援助、保育支援が必要な場合に、家庭生活支援員の派遣を行います。また、経済的な負担を軽減するため、ひとり親家庭等の世帯状況に応じ、利用料の一部を補助します。

- 子ども未来基金事業（子ども青少年課） 16,069千円

企業・団体・個人から寄附を募るとともに、市民、地域団体、企業等が行う子ども・子育ての取り組みに要する経費を補助します。

- 子育て応援プラザ運営事業（子ども青少年課） 27,154千円

室内遊び場やリラックスルーム、子育て中の女性向けのオフィスなどを備えた子育て支援施設を公民連携により運営します。

- 子ども家庭総合支援センター事業（子ども家庭総合支援センター） 22,042千円

児童虐待の発生予防と早期発見，早期対応を行うため，子どもや保護者に寄り添い，訪問等による継続的な相談・支援を行う「子ども家庭総合支援センター」を運営します。

- 養育支援訪問（家事援助）事業（子ども家庭総合支援センター） 1,188千円

食事や衛生状況に課題を抱える子育て家庭に対し，家事援助サービスを提供することにより，子どもが健やかに育つ環境が整うよう家庭を支援します。

- 子育て世代包括支援センター事業（子育て世代包括支援センター） 10,427千円

妊娠，出産，子育て期にわたる様々な悩み等に対し，保健師・助産師等が，面接や訪問等により，専門的な見地から継続的に支援を行います。

- 乳児家庭全戸訪問等事業（子育て世代包括支援センター） 5,611千円

保健師等が，生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し，子育て支援に関する情報提供を行うとともに，養育環境等の把握を行い，該当する家庭の孤立化を防ぎます。

- 母子保健事業（産婦健康診査事業）（母子健康課） 16,651千円

産後の間もない時期（概ね2週間，1か月）に，産婦に対する健康診査を2回実施し，身体機能の回復や授乳状況，精神状態を把握することにより，妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援を行います。

- 障がい者相談支援事業（児童に特化した相談窓口の設置）
（障がい福祉課） 4,800千円

発達障がい児の早期発見・早期療育を目的に，障がい児の相談支援の中核となる「児童に特化した委託相談の窓口」として，相談支援事業を実施します。

- 就学援助事業（新入学児童学用品費入学前支給）（小学校）
（学務教職員課） 9,855千円

経済的理由等により就学が困難な児童の保護者に，義務教育に必要な費用の一部を援助する就学援助事業について，入学する際に必要な学用品・通学用品に係る費用の支給を，入学準備の時期に行います。

- 就学援助事業
（新入学生徒学用品費入学前支給，クラブ活動費支給）（中学校） 24,005千円
（学務教職員課）

経済的理由等により就学が困難な生徒の保護者に，義務教育に必要な費用の一部を援助する就学援助事業について，クラブ活動費の支給を実施します。また，入学する際に必要な学用品・通学用品に係る費用の支給を，入学準備の時期に実施します。

本市を訪れる旅行客が満足し、選ばれる観光地域となるため、歴史や自然、文化などの恵まれた観光資源を生かし、ブラッシュアップするとともに、様々な媒体を通じて本市の魅力を積極的にプロモーションします。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成や、コロナ禍における感染リスクを回避する新しい旅のエチケットの徹底による、安心かつ盛岡ならではの観光の実現により、交流人口を増やすとともに、盛岡との継続的な関係の構築から移住・定住につながる取組を進めるなど、盛岡への人の流れの更なる創出により、魅力があふれるまちにするための戦略プロジェクトです。

このプロジェクトには、合計で21事業、2億356万4千円の予算を計上しています。

具体的な事業名及び事業費

- 大型観光キャンペーン事業（東北DCおもてなしガイド派遣事業） 1,337千円
【新規】（観光課）

盛岡の魅力の発信と再訪による誘客促進を図るため、東北デスティネーションキャンペーン期間中（令和3年4月～9月）の土、日、祝日に、盛岡ふるさとガイドによる盛岡駅を起点とした無料ガイドツアーを行います。

- 競技大会等開催事業（スポーツライミング第4回コンバインド ジャパンカップ）【新規】（スポーツツーリズム推進室） 2,000千円

競技力の向上と盛岡の魅力発信を図るため、スポーツライミング第4回コンバインドジャパンカップを、岩手県営運動公園スポーツライミング競技場で開催します。

- 姉妹都市等国际交流事業（盛岡市・花蓮市友好都市交流事業） 2,838千円
【新規】（文化国際課）

台湾・花蓮市との友好都市提携を記念し、更なる交流の深化を図るため、記念碑を建立するとともに、花蓮市長等を招聘して除幕式を開催します。

- 移住・定住・交流人口対策事業【拡充】（都市戦略室） 32,764千円

従来の東京圏等の若年層向けの情報発信、オンラインイベントの開催、盛岡コミュニティの支援に加え、新たに市中心部に「関係人口交流拠点」を設置し、東京圏等の関係人口や地元の高校生などの若者と、地元の企業や団体が抱える地域課題に関わる機会の創出（マッチング）などを通して、地域との関係性を深められる取組を進めます。

併せて、移住・定住や若者の地元定着の促進を図るため、移住コーディネーターを配置しながら「仕事」と「暮らし」の相談支援体制を強化します。

- 地域おこし協力隊活用事業（関係人口の創出・拡大等）
【拡充】（都市戦略室） 11,818千円

東京圏等の関係人口や地元の高校生などの若者が、地元の企業や団体が抱える地域課題に関わる機会の創出などを通して、地域との関係性を深められる取組等を推進するため、地域おこし協力隊を配置します。

- 芸術文化活動振興事業（盛岡国際俳句大会）（文化国際課） 5,600千円

俳句を通して盛岡市の魅力を国内外に広く発信する盛岡国際俳句大会が、これまでの2回の大会の成果を踏まえて、さらに市の芸術文化振興に寄与する機会となるよう、第3回大会を開催します。

- 姉妹都市等国際交流事業（ホストタウン機運醸成事業）（文化国際課） 771千円

マリ共和国を相手国とするホストタウン交流への市民の理解や関心を深めるとともに、市民の国際感覚の醸成を図るため、マリ出身者による講演会や、マリ音楽と本市出身の箏奏者によるコンサートを開催します。

- 姉妹都市等国際交流事業
（盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携35周年記念事業）（文化国際課） 8,208千円

新型コロナウイルス感染症の影響により延期となった、カナダ・ビクトリア市との姉妹都市提携35周年記念事業を実施することで、これまでの培った絆をより強固なものとするほか、市民レベルでの交流の裾野を広げる機会とします。

- 競技大会等開催事業（いわて盛岡シティマラソン）（スポーツ推進課） 39,000千円

盛岡の魅力発信とスポーツによる交流人口の拡大を目的としたフルマラソン大会を開催するため、「いわて盛岡シティマラソン実行委員会」へ開催負担金を支出します。令和3年度は、走者や大会関係者が安心して参加できるよう、新型コロナウイルス感染症のガイドラインを踏まえた感染症対策を図った上での、大会開催を予定しています。

- 地域おこし協力隊活用事業（盛岡広域連携スポーツツーリズムの推進）
（スポーツツーリズム推進室） 1,723千円

盛岡広域圏のスポーツツーリズムの推進を図るため、地域おこし協力隊（1名）を配置し、盛岡広域スポーツコミッションホームページやSNSによる情報発信を行います。

- 盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業
（スポーツツーリズム推進室） 62,635千円

東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、カナダ及びマリ共和国を相手国とする各種ホストタウン事業と事前キャンプの受入れに取り組みます。また、盛岡広域スポーツコミッションによるスポーツを通じた交流人口の拡大などに取り組みます。

- 観光団体育成強化事業（盛岡伝統芸能常設公演事業）（観光課） 5,700千円

東北デスティネーションキャンペーンの期間中（令和3年4月～9月）の特別企画として、つなぎ温泉の宿泊施設において、盛岡さんさ踊りの常設公演を開催して、伝統芸能団体の育成や保存継承と誘客の促進を図ります。

- 観光客誘致宣伝事業（東北六市連携広域観光プロモーション事業）
（観光課） 3,000千円

東北絆まつりの枠組みによる東北の県庁所在地6市の連携により、首都圏でのプロモーション活動を展開します。

- 大型観光キャンペーン事業（岩手もりおか復興フェスタ開催事業）
（観光課） 1,000千円

東日本大震災からの復興と元気を発信するため、食の魅力を発信するイベントなどと連携しながら、被災地をはじめとする祭りや郷土芸能団体が出演する「岩手もりおか復興フェスタ」を開催します。

- 盛岡ブランド確立事業（都市戦略室） 11,577千円

市内外に盛岡を愛する人を増やし、選ばれる都市となることを目指して、マーケティングや広報の専門人材を活用し、マーケティング手法を取り入れた戦略的な情報発信によるシティプロモーションを、地域住民と一体と行っていきます。

- 盛岡三大麺普及事業（経済企画課） 195千円

盛岡の三大麺である「わんこそば」「盛岡冷麺」「盛岡じゃじゃ麺」の普及を推進するため、盛岡三大麺普及協議会及びわんこそば選手権の負担金を支出します。

- 地場・伝統産業振興事業（特産品ブランド振興事業）
（ものづくり推進課） 132千円

盛岡の特色豊かな工芸品や食品、農産物等を広く全国にアピールするため、新たな盛岡ブランド品認定制度により、販売促進、販路拡大を図ります。

- 地場・伝統産業振興事業（盛岡市の物産と観光展開催事業）
（ものづくり推進課） 3,964千円

首都圏及び北海道からの観光客誘致に向け、熊谷市や札幌市などで開催を予定している物産と観光展に係る負担金を、主催者である「盛岡市の物産と観光展実行委員会」に対し支出します。

□ 地場・伝統産業振興事業（盛岡デー開催事業）（ものづくり推進課） 3,272千円

盛岡の観光PRと魅力発信の場として、東京と沖縄県うるま市で継続開催を予定している「盛岡デー」の開催に係る負担金を、主催者である「盛岡デー実行委員会」に支出します。

□ 盛岡地区かわまちづくり事業（公園みどり課） 3,030千円

川を中心とした観光振興や地域活性化を図るため、舟運に関するイベントの開催や社会実験（北上川開運橋上流左岸ライトアップを含む）を行う実行委員会に係る運営負担を行うとともに、舟運実現への支援として、国整備の船着き場の利用に係る看板設置を行います。

□ 公園等維持管理総務事務
（いしがきミュージックフェスティバル支援事業）（公園みどり課） 3,000千円

盛岡城跡公園をメイン会場として、盛岡市中心部の複数の会場に多くの若い世代が集まる野外音楽イベントの開催を支援するため、実行委員会へ負担金を支出します。イベントを通じて、盛岡の魅力発信や交流人口の増加、若者の活躍支援、中心市街地の活性化につながることを目指します。